
平成27年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成27年3月10日

質問者（質問順）

- 1 荒木 由美子 委員（共産党）
- 2 山本 尚志 委員（自民党）
- 3 瀬之間 康浩 委員（自民党）
- 4 尾崎 太 委員（公明党）
- 5 石渡 由紀夫 委員（民主党）
- 6 伊藤 大貴 委員（結ぶ会）
- 7 平野 和之 委員（みんな）

財政局

局 別 審 査

1 荒 木 由美子 委員（共産党）

1 今後の財政見通しについて

- (1) 中期財政見通しにおける法人市民税の減収要因について伺いたい。
- (2) 物価上昇に賃上げが追い付いていない現状を踏まえると、今の景気動向は甘い見方はできないと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 中期財政見通しにおける収支不足を補う方法について伺いたい。
- (4) 収支不足を補うためには、市民サービスを削るか使用料等の公共料金を値上げするしかないと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 今、増額すべきは高速道路への投資ではなく、市民生活に密着した施設等整備費にすべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (6) 事業を急ぐ結果、29年度のプライマリーバランスが崩れる危険性があると考えるが、見解を伺いたい。
- (7) 物価スライドが影響し、港南区役所の工事費が膨らむ中、このような傾向はこの先も続くと考え、見解を伺いたい。

2 山本尚志委員（自民党）

1 平成27年度予算編成と都市への積極投資について

- (1) 27年度予算編成を振り返っての所感について伺いたい。
- (2) 市債活用についての基本的な認識について伺いたい。
- (3) これからも施設等整備費を確保していくことが必要だと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) 施策の推進と財政の健全性維持に向けた決意について伺いたい。
- (要望) 持続可能な財政運営を支える要の局として、全力で取り組むことを要望する。

2 新地方公会計の推進について

- (1) 新地方公会計による財務書類の公表に向けたスケジュールと課題について伺いたい。
- (2) 固定資産台帳の整備に向けた、現在の検討状況について伺いたい。
- (3) 選択する仕訳手法について伺いたい。
- (4) 公有財産の管理の充実につながるよう財務書類の活用を研究していくことが大切と考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 新地方公会計の推進に関する考えについて伺いたい。
- (要望) 新地方公会計の推進をしっかりと進めることを要望する。

3 公有財産の戦略的な有効活用について

- (1) 過去4か年の取組と成果について伺いたい。
- (2) 課題解決型公募の取組と成果について伺いたい。
- (3) 公有財産の戦略的な有効活用の推進の考え方について伺いたい。
- (要望) みなとみらい地区については関係局で連携し、より積極的かつ戦略的にまちづくりを進めてもらうことを期待する。

4 公共施設の保全・更新について

- (1) 「公共施設管理基本方針（素案）」の柱に据えていることについて伺いたい。
- (2) 市民や建設業団体からの主な意見について伺いたい。
- (3) 公共施設の保全・更新を着実に進めるには、全区局を巻き込みオール市役所で連携して推進すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 施設の複合化等の取組は全区局がマネジメントの意識を持ち連携して進めてほしい。

5 品確法「発注関係事務の運用に関する指針」の適切な執行について

- (1) 発注関係事務をどのように適切に執行していくのか伺いたい。
- (2) 発注の平準化へどのように取り組むのか伺いたい。
- (要望) 発注の平準化は、これまで以上に積極的に取り組むようお願いしたい。
- (3) 共同企業体の配置技術者についての競争参加資格を緩和すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) 工事の円滑な施工に向けた取組について伺いたい。

6 税制改正について

- (1) 還付加算金に関する現行の法令等の内容について伺いたい。
- (2) 地方税法の改正案の内容とその趣旨について伺いたい。
- (要望) 還付加算金の取扱いの変更について、市民に対する周知をしっかりと行ってほしい。
- (3) ふるさと納税によって控除される寄附金額の具体的な変更内容について伺いたい。
- (4) 23年度から25年度までの横浜サポーターズ寄附金の実績について伺いたい。
- (5) 今後の横浜サポーターズ寄附金の取組について伺いたい。

7 人材育成について

- (1) 財政局における人材育成の取組について伺いたい。

(2) 税務職員の人材育成に向けた取組について伺いたい。

(3) 技術職員の人材育成に向けた取組について伺いたい。

(要望) 財政局には、“オール横浜”の視点で施策を進めるために、総合調整機能を発揮してほしい。

(4) 財政局職員に対する想いと人材育成に対する意気込みについて伺いたい。

(5) 財政局職員に向けたエールをいただきたい。

3 瀬之間 康 浩 委員（自民党）

1 市有地公募売却事業と大規模土地等の活用について

- (1) これまでの市有地公募売却事業の実績と取組について伺いたい。
 - (2) 市有地公募売却事業における広報・広告活動の取組について伺いたい。
 - (3) 市有地公募売却事業の今後の取組姿勢について伺いたい。
 - (4) 区局が連携した資産活用の具体的取組について伺いたい。
 - (5) 大規模土地等の活用方法を検討するにあたっての考え方について伺いたい。
 - (6) 港南土木事務所移転後の後利用を検討するにあたっての考え方について伺いたい。
- (要望) 港南土木事務所移転後の後利用について、地域の皆様の期待に応えられる活用方法となることを要望する。

2 特別徴収制度の推進について

- (1) 狙いとその効果について伺いたい。
- (2) これまでの取組について伺いたい。
- (3) 特別徴収義務者が特別徴収に直ちに移行することが困難な場合の取扱いについて伺いたい。
- (4) より広域で連携した取組の進め方について伺いたい。

1 市税の仕組みと税収構造について

- (1) 27年度市税収入の税目別増減要因は何か伺いたい。
- (2) 本市の個人市民税は他市町村と比べて高いのか伺いたい。
- (3) 27年度市税収入に占める法人市民税の割合に関しての旧5大市との比較について伺いたい。
- (4) 本市の税収構造の特徴を踏まえた、今後の税収確保の方向性について伺いたい。
- (5) 法人市民税の一部国税化による税収影響額について伺いたい。
- (6) 法人市民税の一部国税化に対する本市の考え方について伺いたい。

2 財源確保に向けた取組について

- (1) 27年度予算における財源確保の取組内容について伺いたい。
- (2) 国・県支出金が増額となっている理由について伺いたい。
- (3) 今後の財源確保に向けた決意について伺いたい。

3 工事の入札不調について

- (1) 26年度発注工事の入札不調の原因別内訳について伺いたい。
 - (2) 入札参加者がいないことによる入札不調が、年度後半に増加している理由をどのように考えるか、見解を伺いたい。
 - (3) 現在行っている入札不調対策について伺いたい。
 - (4) より一層の入札不調対策を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 事業計画どおりに本市の工事を完了させ、市民の皆様に速やかに施設を利用していただけるよう、しっかり入札不調対策に取り組むことを要望する。

4 適正な予算執行手続について

- (1) 区局の予算執行手続の適正を図るための財政局の取組について伺いたい。

- (2) 取組による効果について伺いたい。
- (3) 職員の意識の向上に向けた取組について伺いたい。

5 横浜市将来にわたる責任ある財政運営の推進に関する条例について

- (1) 条例が市政運営や市民生活にどのように寄与していると考えるか、見解を伺いたい。
- (2) 27年度予算案における、条例の反映状況について伺いたい。
- (3) 条例を踏まえた、今後の財政運営に向けた考えについて伺いたい。
(要望) 引き続き、条例の趣旨を踏まえた財政運営を進めてほしい。

6 新地方公会計について

- (1) 推進に向けた、27年度予算での計上状況について伺いたい。
- (2) 専門的な知識を有する民間の力も借りながら、効率的・効果的に取り組んでいくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 市民生活にどのように役立つと考えているか、見解を伺いたい。
(要望) 新地方公会計の推進に向けて市民の視点を常に心がけることを要望する。

1 財政状況について

- (1) 本市の財政状況に関する所感について伺いたい。
 - (2) 他都市と比較する上での指標について伺いたい。
 - (3) 他都市と比較した本市の財政状況について伺いたい。
 - (4) 本市の目指す方向についてどのように考えているか、見解を伺いたい。
- (要望) これからも健全財政に向けてより一層の努力・取組を要望する。

2 市債について

- (1) 「一般会計が対応する借入金残高の縮減」を財政運営の大きな目標として取り組んでいる目的について伺いたい。
 - (2) これまでの市債発行に係る主な方針について伺いたい。
 - (3) 15年度から27年度末までに「一般会計が対応する借入金残高」を7千億円縮減した実績に関する所感について伺いたい。
 - (4) 29年度に横浜方式のプライマリーバランスを均衡させるのは容易なことではないと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 計画期間における一般会計の市債は、6千億円の範囲での活用をしっかりと守るようお願いしたい。

3 未収債権回収について

- (1) 市税の滞納額の推移について伺いたい。
- (2) 市税滞納額の圧縮実績に対する所感及び今後の取組の方向性について伺いたい。
- (3) 未収債権407億円のうち、強制的に回収できる債権と強制的に回収できない債権の内訳について伺いたい。
- (4) 私債権等の回収整理についての27年度の取組について伺いたい。
- (5) 本市全体の未収債権圧縮の実現に向けた取組について伺いたい。

4 扶助費について

- (1) 増加に対する所感について伺いたい。
- (2) 今後の中長期的な見通しについて伺いたい。
- (3) 扶助費のうちの市費の見通しについて伺いたい。
- (4) 持続的な財政運営を進めるうえで、今後、扶助費とどう向き合っていくのか、見解を伺いたい。

5 コストダウンについて

- (1) 財政局の業務や仕事の進め方におけるこれまでのコストダウンの取組について伺いたい。
- (2) 本市全体の行政におけるコストダウンの考えについて伺いたい。
- (要望) 職員からの提案を論議して事業化に結び付けたり、仕事のやり方を変えることでサービスの質を落とさずコストを下げるような努力を、各局と連携して取り組むことを期待する。

6 伊藤大貴委員（結ぶ会）

1 プライマリーバランスについて

- (1) 一般会計が対応する借入金残高とは何か伺いたい。
- (2) 横浜方式のプライマリーバランスを積極的に宣伝してきた中で、一般会計が対応する借入金残高を強調するようになった意図について伺いたい。
- (3) 横浜方式のプライマリーバランスが赤字でも、一般会計が対応する借入金残高が減る理由について伺いたい。
- (4) プライマリーバランスを黒字にしないと、30年度以降、一般会計が対応する借入金残高は減らないと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 大型公共事業が動き出している30年度以降、プライマリーバランスを維持できるのか見通しについて伺いたい。

2 民間ノウハウ等を活用した資産活用の推進について

- (1) 活用可能資産の仕分け方法について伺いたい。
 - (2) 財源確保を図るべき土地とは何かについて伺いたい。
 - (3) 公有財産の活用は様々あっていいと思うが、売却については特に慎重であるべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (4) 課題解決型公募の仕組みについて伺いたい。
 - (5) まちづくりや地域課題の解決につながる提案にたどり着くためには、これらに精通した職員が必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 岩手県紫波町の事例などを研究し、横浜の持つポテンシャルの高い土地を有効活用してほしい。

7 平野和之委員（みんな）

1 プライマリーバランスについて

- (1) プライマリーバランスとはそもそも何か、また、横浜方式・国方式とはどういったものか伺いたい。
- (2) 横浜方式のプライマリーバランスはいつ始めたのか伺いたい。
- (3) 政令指定都市における「横浜方式のプライマリーバランス」採用自治体の数について伺いたい。
- (4) 27年度予算において「国方式のプライマリーバランス」が大きい上位3都市とその額、及び本市の順位とその額について伺いたい。
- (5) プライマリーバランスの数字を見ると、大阪市や名古屋市が頑張っているように見えるが、現市長になってからの傾向なのかその前からなのか。なぜ大阪市や名古屋市の黒字額が大きいのかについて伺いたい。
- (6) プライマリーバランスについては横浜方式と国方式の両方を公表すべきと考えるが、見解を伺いたい。